

令和元年産

# 大崎稲作情報 第2号

令和元年6月3日発行

宮城県米づくり推進大崎地方本部

大崎農業改良普及センター

TEL:0229-91-0726 FAX:0229-23-0910

http://www.pref.miyagi.jp/site/osnokai/

## 今回のポイント

- 分けつの発生を促進させる適切な水管理を行いましょう。
- いもち病の発生源となる補植用苗は速やかに処分しましょう。
- 斑点米カメムシ類対策として、雑草防除を徹底しましょう。

## 1 気象経過及び管内の状況

### 【気象経過】

- ・4月は、気温が平年より低かったものの、日照時間は平年よりやや長くなりました。降水量は、古川では平年より少なく、川渡では平年よりも多くなる傾向となりました。
- ・5月は、気温が平年より高く、また日照時間も平年より長くなりました。降水量は平年よりも少なくなりました。

表1 4月・5月の気象

観測地点	月	平均気温 (平年差)	最高気温 (平年差)	最低気温 (平年差)	日照時間 (平年比)	降水量 (平年比)
古川	4月	-0.8℃	-0.4℃	-1.4℃	107%	80%
	5月	+1.9℃	+3.0℃	+0.3℃	150%	93%
川渡	4月	-0.8℃	-0.4℃	-1.2℃	104%	123%
	5月	+1.8℃	+3.1℃	+0.4℃	134%	87%

### 【播種・田植】

- ・播種は、天候に恵まれ、順調に行われました。苗の生育は、4月はやや低温でありましたが、高温・低温等による障害や病害の発生も少なく順調でした。
- ・田植は、天候に恵まれ、順調に行われました。田植後の苗の活着も、好天により良好でした。本年の田植終期は、平年より1日遅くなりました。

表2 播種状況

	始期	盛期	終期
管内 (平年差)	3月30日 (平年と同じ)	4月9日 (平年と同じ)	4月20日 (平年と同じ)
県全体 (平年差)	4月3日 (1日遅い)	4月12日 (1日遅い)	4月20日 (1日早い)

表3 田植状況

地域区分	始期	盛期	終期	
大崎管内	北部平坦 (平年差)	5月1日 (平年と同じ)	5月8日 (平年と同じ)	5月18日 (1日遅い)
	西部丘陵 (平年差)	5月5日 (平年と同じ)	5月14日 (1日早い)	5月22日 (2日早い)
	山間高冷 (平年差)	5月14日 (平年と同じ)	5月19日 (2日早い)	5月27日 (平年と同じ)
	合計 (平年差)	5月3日 (1日遅い)	5月11日 (2日遅い)	5月20日 (1日遅い)
県全体 (平年差)	5月4日 (1日遅い)	5月11日 (平年と同じ)	5月22日 (1日遅い)	

※「始期」は作付見込み面積の5%、「盛期」は50%、「終期」は95%が進行した時期とし、平年差は前5か年(平成26年～平成30年)の平均値との比較を表す。

## 2 水稻生育調査ほの生育概況

- ・草丈は、まなむすめは平年を上回っていますが、他は平年を下回っています。
- ・茎数は、北部平坦のひとめぼれとまなむすめは平年を大きく上回っていますが、他は平年より少ない傾向です。
- ・葉数は、3.7～6.5枚となり、順調に生育が進んでいます。

表4 5月31日の調査結果

地区名 (地帯区分)	品種名 (田植月日)	草丈(cm) (平年比)	茎数(本/m <sup>2</sup> ) (平年比)	葉数(枚) (平年差)
三本木 (北部平坦)	ひとめぼれ (5月4日)	25.1 (99%)	160.2 (141%)	6.2 (+0.5)
小野田 (西部丘陵)	ひとめぼれ (5月19日)	20.5 (79%)	57.0 (60%)	4.4 (-0.7)
古川 (北部平坦)	ササニシキ (5月8日)	24.3 (93%)	103.9 (86%)	5.6 (+0.2)
三本木 (北部平坦)	だて正夢 (5月8日)	31.1 (-)	190.3 (-)	6.5 (-)
R1 新規 三本木 (北部平坦)	金のいぶき (5月10日)	28.6 (-)	103.1 (-)	6.2 (-)
宮崎 (西部丘陵)	まなむすめ (5月12日)	28.1 (114%)	129.5 (106%)	5.4 (+0.4)
R1 新規 鳴子 (山間高冷)	ゆきむすび (5月24日)	16.9 (-)	45.0 (-)	3.7 (-)
真山 (北部平坦)	みやこがねもち (5月19日)	21.5 (89%)	103.8 (85%)	4.5 (-0.6)
県全体		24.1 (98%)	118.0 (104%)	5.5 (+0.2)

※平年比・差は、前5か年(平成26年～平成30年)の平均値との比較。

県全体は、ひとめぼれ、ササニシキ、まなむすめの生育調査ほ34地点の平均値。

## 3 分けつ期～有効茎決定期頃の管理

### 【水管理】

- ・水深2～3cmの浅水管理で水温と地温を上昇させて、分けつ発生を促しましょう。
- ・低温時には、5～6cmの水深を保つなどして地温の確保に努めましょう。
- ・生わらや未熟堆肥をすき込んだほ場ではガス(硫化水素)が発生し、生育が阻害されることがあるので、一時落水し、土壌への酸素供給とガス抜きを行きましょう。
- ・有効茎数(ひとめぼれ480～520本/m<sup>2</sup>)を確保したら、早めに中干しを行い過剰分けつを抑制するとともに、間断かん水を組み合わせて根の健全化を図りましょう。
- ・除草剤の効果を持続させるため、一発剤を散布したら散布後30日間は田面が露出しないようにしましょう。

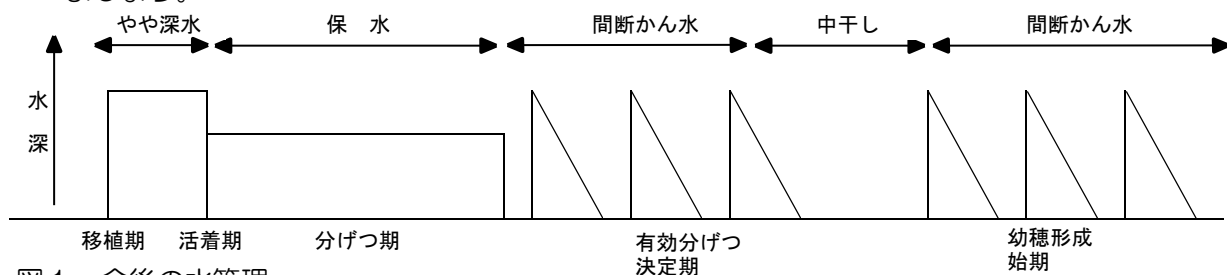


図1 今後の水管理

## 【病害虫防除】

### ①いもち病

- ・残苗（補植用苗）は、本田でのいもち病の発生源になります。補植作業が終了次第、速やかに処分しましょう。
- ・飼料用米や直播栽培など、箱施用剤による予防防除を行っていない場合は、各種水面施用剤を防除適期に散布しましょう。
- ・残苗でいもち病を確認した場合、周辺の稲で発生していないかどうか確認しましょう。
- ・本田で発生が確認された場合は、直ちに茎葉散布剤で防除しましょう。

### ②イネミズゾウムシ、イネドロオウムシ

- ・箱施用剤を使用した場合は、本田における防除は必要ありません。しかし、使用しなかった場合は、次の要防除基準を目安に防除しましょう。

要防除水準	防除を必要とする目安
イネミズゾウムシ	畦畔際2m程度の所に、100株当たり成虫が140頭以上。 ※今年の成虫本田侵入盛期は、5月26日～5月31日頃と予報されています。
イネドロオウムシ	畦畔際から観察し、侵入盛期に100株当たり成虫が25頭以上。または100株当たりの産卵盛期の卵塊数が80以上。※今年の成虫本田侵入盛期は、5月26日～5月31日頃、産卵盛期は、6月1日～6月5日頃と予報されています。

（注）※印は発生予報第3号（令和元年5月22日発行 宮城県病害虫防除所）より抜粋

## 【雑草防除】

- ・初期剤を使用したほ場では、中期剤の使用時期となっています。
- ・一発処理剤を施用したほ場でも雑草が残っていれば、雑草の種類や葉齢、稲の葉齢を確認し、適切な薬剤で適期に防除しましょう。
- ・ヒエやイヌホタルイ等の雑草は、稲の出穂前にカメムシ類を水田に呼び寄せるため、斑点米の被害の原因となります。特に、イヌホタルイはアカスジカスミカメが寄生・産卵し、カメムシの発生密度が高まりますので、雑草対策を徹底しましょう。



図2 イヌホタルイとカメムシ発生について

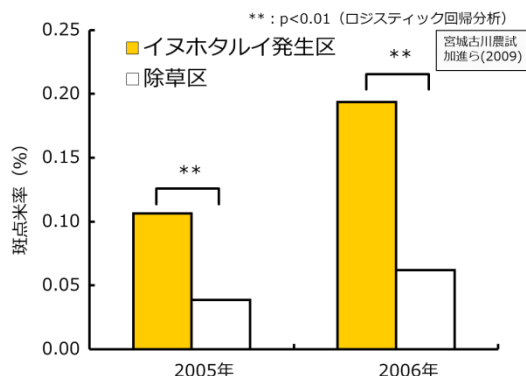


図3 イヌホタルイ発生と斑点米被害

農薬の河川等への流出防止と除草効果安定のため、薬剤散布後7日間は落水、掛け流しはしないようにしましょう。

## ◇◇◇◇◇春の農作業安全確認運動実施中（4月1日～6月30日）◇◇◇◇◇

農作業中の事故は農業機械によるものが多く、また、機械の転倒や転落が大きな要因となっています。あぜ越えや路肩を走行する際には油断せずに、後方確認を行い足元にも注意しましょう。

## ◆◆◆◆◆農薬危害防止運動実施中（6月1日～8月31日）◆◆◆◆◆

農薬を使用する前には、必ず使用可能な作物名等ラベルなどで確認し、使用時期、使用方法、使用量を守って適正に使用しましょう。※最新の農薬登録情報は、農林水産消費安全技術センターホームページで確認できます。HP<<http://www.acis.famic.go.jp/searchF/vtllm001.html>>

## 4 今後の気象

### 東北地方 1 か月予報

(6月1日から6月30日までの天候見通し)

令和元年5月30日  
仙台管区气象台 発表※抜粋

#### <特に注意を要する事項>

期間の前半は、少雨の状態が続くところがある見込みです。期間の前半は気温がかなり高くなる見込みです。

#### <予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

期間の前半は、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。期間の後半は、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。

向こう1か月の平均気温は、高い確率60%です。降水量は、平年並または少ない確率ともに40%です。日照時間は、平年並または多い確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率80%です。2週目は、高い確率50%です。3～4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

#### <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%) >

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
【気温】	東北地方	10	30	60
【降水量】	東北地方	40	40	20
【日照時間】	東北地方	20	40	40

#### <気温経過の各階級の確率 (%) >

		低い	平年並	高い
1 週 目	東北地方	10	10	80
2 週 目	東北地方	20	30	50
3～4 週目	東北地方	20	40	40

#### <予報の対象期間>

1 か 月	6月 1日(土)～6月30日(日)
1 週 目	6月 1日(土)～6月 7日(金)
2 週 目	6月 8日(土)～6月14日(金)
3～4 週目	6月15日(土)～6月28日(金)